

和歌山縣報

第四百十四號

大正五年十一月七日
火曜 日

○ 告 示

○和歌山縣告示第三四九號

伊都郡端場村役場位置ハ今般參百拾九番地ニ變更セリ
大正五年十一月七日

和歌山縣知事 鹿子木 小五郎

○和歌山縣告示第三五〇號

和歌山市十番町十五番地
開業產婆
坂口 小糸
右今般死亡ノ旨ヲ以テ願出ニ依リ本日
和歌山縣產婆名簿ノ登錄ヲ取消ス
大正五年十一月七日

和歌山縣知事 鹿子木 小五郎

○和歌山縣告示第三五一號

左記ノ者頭書ノ番號ヲ以テ本日和歌山縣產婆名簿ニ登錄ス
大正五年十一月七日

和歌山縣知事 鹿子木 小五郎

番	號	住	所	身	分	氏	名	生	年	月
第九三七號		和歌山市九番丁十一番地		平民		林	ノブエ	明治二十八年五月		

○和歌山縣告示第三五二號

靜岡縣ヨリ「ベスト」豫防ノ爲物件移入禁止ニ付左記ノ通通知アリタリ

大正五年十一月七日

和歌山縣知事 鹿子木 小五郎

記

一、靜岡縣令第四十八號「ベスト」豫防ノ爲明治三十年法律第三十六號傳染病豫防法第十九條ニ依リ左記ノ地ヲ發シ又ハ經テ來ル棉花、綿、落綿、古綿、綿絲、藍襖、古着、古麻、古敷物、古草皮、古羽毛、古俵、古筵類ノ搬入ヲ停止ス但シ汽車積ノ儘同地ヲ經テ來ルモノ及當該官署ノ搬出許可証アルモノハ此限ニ在ラス

本令ニ違反シタルモノハ拘留又ハ科料ニ處ス

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

大正五年十月二十四日

靜岡縣知事 安河内 麻吉

三重縣

○ 辞 令

○十月三十一日

縣雇ヲ命ス

月俸拾貳圓ヲ給ス

内務部勸業課勤務ヲ命ス

縣原蠶種製造所書記兼縣農事講習所書記

岡見好高

願ニ依リ職務ヲ免ス

○十一月四日

技師

大正五年十一月開設西牟婁郡茶業組合主催製茶品評會審査長ヲ

命ス

市立和歌山商業學校教諭

久住信太郎

九級俸

當分年俸八百四十圓下賜

全

七級俸

當分月俸四十三圓ヲ給ス

全

月俸三十八圓ヲ給ス

後藤保三郎

○ 衛 生

○自十月一日至十月十日御坊町「トラホーム」患者治療旬報

種

別

十一日 十二日 十三日 十四日 十五日 十六日 十七日 十八日 十九日 二十日

合 計

御用濟ニ付職務ヲ免ス

臨時蠶業取締吏員

橋本鹿之助

縣原蠶種製造所書記縣農事講習所書記ニ任ス

橋本鹿之助

月俸拾五圓ヲ給ス

○ 町村吏員異動

○大正五年十月二十八日認可

那賀郡網野村助役

中前定松

○ 報 告

○ 官廳事項

○ 村吏員ノ懲戒

東牟婁郡高田村長玉置藤太郎ハ那智往來改修費縣補助金下付申請ニ當リ精算書提出誤謬ノ爲一日過當金額ノ交付ヲ受クルニ至ラシメシ限ヲ以テ十一月二十六日東牟婁郡長ヨリ譴責セラレタリ

○小學校長兼任官待遇 有田郡湯淺女子尋常高等小學校長宮田誠敬ハ十月三十日兼任官ヲ以テ待遇セラレタリ

○叙位及進階 正八位朝倉金彦、東數美男ハ從七位ニ前島牛次郎、磯義助、葦原秀國ハ正八位ニ執レモ十月三十日叙位進階セリ

生徒患者	一一二	休	六八	六六	六六	七一	七一	日曜	七四	七四	五五六	
其他患者	六〇九	休	休	休	三一一	二九五	三〇二	三八九	三七二	二八四	二、一二五	
計	七二一	休	六八	六六	三七七	三六一	三七三	三六〇	三七二	三五八	三四七	二、六八一

○ 正 誤

○大正五年十月三十日縣報第四百十二號所載ノ訓令第三〇號中左ノ通正誤ス

第三頁第二行目上欄ニ「計」ノ一字ヲ加フ

第五頁役場摘要欄第二行目中「何日」ノ二字ヲ削ル

第八頁第二行目括弧内ノ文字「何日限リ」ノ次ニ「納付」ノ二字ヲ加フ

第八頁土地合計中第三欄目「等數」トアルハ「筆數」ニ更ム

第十五頁備考第六號中「管理方法」トアルヲ「管理方法」ニ更ム

○本年十月二十七日訓令第二八號中第三頁第十一行居所在地トアルハ居場所所在地ノ誤植

大正五年十一月六日印刷
大正五年十一月七日發行
每月六日金曜日發行

和歌山縣知事官房

印刷人 和歌山市本町二丁目三番地 江川印刷部
發行所 和歌山市本町二丁目三番地 江川印刷部